

自然エネルギー信州ネット

平成24年度第2回運営会議 次 第

日時：平成24年（2012年）9月21日（金）

10：00～12：00

場所：JA長野県ビル12C会議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 会議事項

（1）議題、資料確認

（2）議事

① 事務局より報告

- ・地域協議会設立状況ならびに活動状況

資料1-1 地域協議会一覧 マップ

資料1-2 ヒアリングシートまとめ

- ・地域協議会活動支援応募状況と二次募集について 資料2

- ・新たな会員制度への移行状況ならびに会員数の報告 資料3

- ・会員名簿の公開について 資料4

- ・佐久地域での「連絡会」開催について 資料5

- ・人材バンクについて 資料6

② 平成24年度環境省受託事業 ワーキンググループについて 資料7

③ 長野県より

- ・長野県総合特区提案について 資料8

- ・長野県地球温暖化対策新制度に係る中間報告 資料9

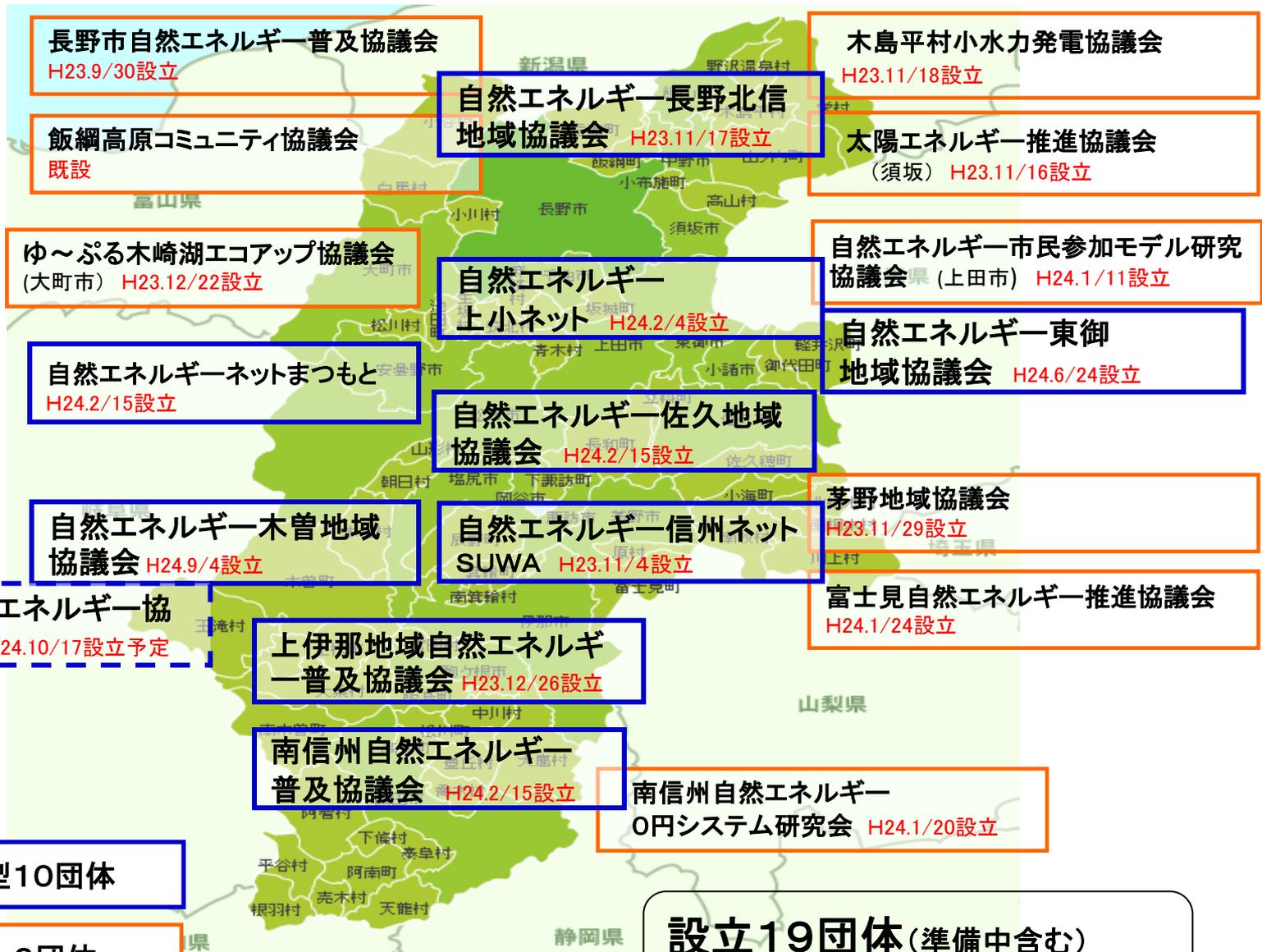
- ・自然エネルギー自給コミュニティ創出支援事業 結果報告 資料10

④ 「自然エネルギーふれあいDAY in 信州」の報告 等 資料11

4. 閉会

自然エネルギー信州ネットと連携する地域協議会

資料1-1



ネットワーク型10団体

特定事業型 9団体

設立19団体(準備中含む)

H24.9月20日現在

	組織の名称	住所	連携	事業			
				事業名	実施段階	補助金の有無	事業概要
ネット ワーク 型	1 自然エネルギー信州ネットSUWA 設立年月日 平成23年11月4日 代表者氏名 沖野 外輝夫 担当者 宮坂 平馬	392-0017 諏訪市城南二丁目2362-3	連携済	諏訪地域自然エネルギー普及促進事業	実施段階	無	「自然エネルギー信州ネットSUWA」は諏訪地域に賦存するエネルギーを活用した事業化を目的として平成24年5月9日に「諏訪地域自然エネルギー普及促進会議」を設立し、諏訪地域での事業具体化を検討してきた。当会議は、当地区の行政、企業、大学、民間団体間の情報共有を目的とするプラットフォームであるが、自然エネルギーの普及は基より、事業化への行程に関わる研究も行ってきた。 長野県が進めている「公共施設屋根貸し事業」の諏訪流域下水道終末処理場対象事業に応募する住民主体のコア団体として「株式会社みんなの自然エネルギー」設立(平成24年8月中・予定)、地元企業と連携して太陽光発電事業を展開する。この事業を最初として、地元で得られる各種自然エネルギーの有効利用、地域でのエネルギー地産地消、地域活性化を目的とする事業を展開する計画である。
	2 自然エネルギー長野北信地域協議会 設立年月日 平成23年11月17日 代表者氏名 松岡 保正 担当者 宮入 賢一郎	381-2217 長野市稲里町中央三丁目33番23号	連携済	栄村から自然エネルギーの輪を広げる 『北信州・自然エネルギー学校』プロジェクト	実施段階	有 補助金名:地域発 元気づくり支援金 交付元機関名:長野県長野地方事務所 (地域政策課)	本事業では「北信州・自然エネルギー学校」と称する普及啓発プログラムを構築し、効果的な普及啓発に取り組む。さらに、こうした地産地消型の自然エネルギーが、環境保全のみならず、地域経済や雇用などにも貢献できる可能性を訴求し、広く北信地域にも波及効果を及ぼすように工夫しながら事業を実施している。 具体的には、①「北信州・自然エネルギー学校」プログラムづくり、②「北信州・自然エネルギー学校」の出前講座として、冊子や展示品を製作した。(事業で製作している展示品リスト等を添付した)
	3 上伊那地域自然エネルギー普及協議会 設立年月日 平成23年12月26日 代表者氏名 岡野 哲郎 担当者 寺澤 茂通	396-0217 伊那市高遠町上山田86-1	連携済	上伊那地域の自然エネルギー普及プロジェクト事業	実施段階	有 補助金名:元気づくり支援金 交付元機関名:上伊那地方事務所	太陽光発電や小水力発電、バイオマスエネルギーの活用等々の学習会・先進事例視察研修会・セミナー等を実施する。
	4 自然エネルギー上小ネット 設立年月日 平成24年2月4日 代表者氏名 末広 繁和 担当者 http://www2.ueda.ne.jp/~s-syslab/sub2.htm	386-0043 上田市下塩尻405-9	連携済	新しい公共に基く「自然エネルギー活用、省エネ活動について意識改革の啓発活動」	実施段階	無	・上小地域の自然エネルギーポテンシャルの把握と活用のビジョン作成、活用事業の支援を行う。 CO2削減を目指し、自然エネルギー活用、省エネ活動について意識改革の啓発を行う。7つの事業を計画し運用中 ①常設の情報提供コーナー ②情報交流会 ③学習会 ④個別相談 ⑤出前講座(準備中) ⑥人材育成(準備中) ⑦プロジェクト支援
	5 自然エネルギー佐久地域協議会 (略称:新エネ普及佐久ネット) 設立年月日 平成24年2月15日 代表者氏名 加藤 三喜夫 担当者 小池 瑛里奈	385-0051 佐久市中込1-10-1	連携済	「自然エネルギーの地産地消を進める普及啓発事業、並びに普及モデル構築の情報提供を行う事業」	実施段階	有 補助金名:地域発 元気づくり支援金 交付元機関名:長野県	・自然エネルギー学習会開催 ・自然エネルギー講演会(セミナー又はシンポジウム)開催 ・自然エネルギーカフェ開設 ・地域内自然エネルギーマップの作成 ・自然エネルギー体験ツアー開催 ・地域イベントで啓発活動実施 ・ホームページ開設 「平成24年度元気づくり支援金事業申請書」参照
	6 自然エネルギーネットまつもと 設立年月日 平成24年2月15日 代表者氏名 平島 安人 担当者 平島 安人 http://ematsumoto.web.fc2.com/	399-0701 塩尻市広丘吉田540-12	連携済	自然エネルギー市民フォーラム in まつもとの開催	計画段階	有 補助金名:げんきづくり支援金 交付元機関名:松本地方事務所	一般市民の意識向上・啓発を狙いとして、自然エネルギーに関する講演や討論を行う。
				自然エネルギーを考える市民講座の開催	計画段階	有 補助金名:げんきづくり支援金 交付元機関名:松本地方事務所	当ネットワーク会員が講師となり、一般市民対象の連続学習会を開催する。
				啓発パンフレットの制作、ホームページの開設	計画段階	有 補助金名:げんきづくり支援金 交付元機関名:松本地方事務所	情報発信するためのツールを整備し、継続的な情報発信を行う。
	7 南信州自然エネルギー普及協議会 設立年月日 平成24年2月15日 代表者氏名 平澤和人、原亮弘 (共同世話人) 担当者 蓬田 裕一	395-0044 飯田市本町2-15	連携済	自然エネルギー体験ツアー／講演会(NPO山法師と連携して)	計画段階 (9/7に総会予定)	(NPO山法師が元気づくり支援金を受けている)	11/10(土)～11(日)IPCCの委員を務めた榎屋治紀さんの講演と、南信州の自然エネルギーの取り組みを学ぶバスツアー。
			環境映画上映	計画段階 (9/7に総会予定)	無	1月ころ「シェーナウの思い」の上映と意見交換	
8 自然エネルギー東御地域協議会 設立年月日 平成24年6月24日 代表者氏名 檜原 聚 担当者 吉田 周平	389-0513 東御市滋野736番地128	連携済	チップボイラー(ロケットストーブ式)試作・開発	計画段階	有 補助金名:自給コミュニティ創出支援事業 交付元機関名:長野県	24年度は、障害福祉サービス事業所「さんらいずホール」の既設の貯湯タンクにロケット式ボイラーへ接続し、燃焼実験を行う。 化石燃料による燃料費70%削減目標。10月から基礎調査及び基本設計を開始し、3月に現場設置予定。	
			エネルギー自給コミュニティ・モデルの実現	構想段階	無	東御市内の特定の地域をモデルにして、エネルギー自給コミュニティの可能性を探る。 8月19日に、信大池田教授の小水力発電学習会を実施した。	
			太陽光を主にした学習会の開催	計画段階	無	9月より市内5地区へ出前講座方式で開催する。 9月29日滋野地区	
9 自然エネルギー木曾地域協議会 設立年月日 平成24年9月4日 代表者氏名 松井 淳一 担当者 西谷 正	399-5607 木曾郡上松大字小川12037	連携済					

		組織の名称	住所	連携	事業			事業概要
					事業名	実施段階	補助金の有無	
特定事業型	1	飯綱高原コミュニティ協議会 設立年月日 平成19年5月 代表者氏名 及川 渡 担当者 及川 渡 http://iizuna-kougen.net/	380-0881 長野市門沢5271-83	連携済	自然エネルギー体験館建設事業	構想段階	無	飯綱高原エコ・ビレッジ構想の一環として、自然エネルギーを体験できる館を、地域に豊富にある木資源を活用して、地域ボランティアによる手作りで建設する。館はログハウス風とし、太陽光発電、小水力発電、バイオマス発電、地熱、太陽熱などの模型を体験型として展示する。
					木資源活用会議(薪友会)	実施段階	無	飯綱高原に居住し、薪ストーブを使用しているが、“薪の調達がなかなか困難”、“高齢になって薪割りが出来なくなった”などのご家庭に、近隣中山間地の間伐材を引き取り、薪をつくり、供給するシステム作りを飯綱高原コミュニティ協議会の傘下で薪友会30名でスタートさせた。将来的には、薪の供給と併せて、ペレットストーブやペレットボイラーの普及とペレットの製造も視野に活動を展開したいと考えている。
	2	長野市自然エネルギー普及協議会 設立年月日 平成23年9月30日 代表者氏名 松岡 保正 担当者 宮入 賢一郎	381-2217 長野市稲里町中央三丁目33番23号	連携済	木質バイオマスストーブ初期投資0円システム『ペレットストーブ貸出』事業	事業モデル検討中(SPCにて実施段階)	有 補助金名:新しい公共の場づくりモデル事業(一部) 交付元機関名:自然エネルギー信州ネット(長野県民協働・NPO課) 【自然エネルギー信州ネットによる実施のため当会では予算計上していない】	木島平、須坂とともに3地域協議会で新しい公共の場づくりモデル事業を検討中(H23~H24年度)。当協議会では、ペレットストーブの初期投資0円システムを検討。昨年度は地域金融機関による融資を財源としたタイプ、今年度は市民出資と補助金を併用した財源によるタイプを構築した。なお、昨年度は、NPO法人CO2バンク推進機構が事業主体となって、2台のペレットストーブを貸出で実証試験をはじめた。今年度は、新たなSPCとしてLLPを設立、事業実施に向けての検討中で、近日中に貸出先を募集する予定。(事業チラシ案を添付)
					ながの地産地消エネルギー利用促進プロジェクト	実施段階	有 補助金名:地域発 元気づくり支援金 交付元機関名:長野県長野地方事務所(地域政策課)	本事業では、自然エネルギー利用をより普及させることを目的として、自然エネルギーを「みて・ふれて・仕組みがわかる」展示やワークショップを行いながら、自然エネルギーが生み出す電気や熱が暮らしに利用できる可能性を実感してもらおう。さらに、エネルギーの地産地消や持続可能で災害にも強い地域循環型社会と関連づけることにより、地域経済や雇用などを含む地域づくりの実践活動へと発展させていく。具体的には、①出前講座プログラムづくり、②自然エネルギー普及イベントの開催と出前講座。そのための冊子や展示品を製作し、活用する。(今年度に制作した展示品を添付)
	3	太陽エネルギー推進協議会 設立年月日 平成23年11月16日 代表者氏名 西村 秀次 担当者 中村 嘉寿良	382-0097長野県須坂市須坂1595-1	連携済	相森中学校太陽光発電所事業	実施段階	無	須坂市相森中学校の校舎及び体育館の屋根を利用した学校発電所を稼働(128kW)。発電の全量を電力会社に販売する事業モデル。自然エネルギー信州ネットと連携したモデル事業として、単なる屋根貸しではなく、災害時に避難所となる体育館の非常電源装置ならびに職員室のLED照明装置を設置し、公共性を持たせている。10月末に運転開始予定。
					太陽光地域発電事業	構想段階	無	地域での公共施設、工場、倉庫等のスペースを活用した太陽光発電事業。長野県内を東北中南信のブロック毎に太陽光発電事業者を立ち上げ、事業収益の一部を環境問題対策費として地域に還元する。地域におけるエネルギーの地産地消を促進させる。
	4	木島平村小水力発電協議会 設立年月日 平成23年11月18日 代表者氏名 芳川 修二 担当者 勝山大成 (木島平村総合政策課企画財政係) http://www.kijimadaira.jp/	389-2392 下高井郡木島平村大字往郷973-1	連携済	環境・防災の地域づくりを進める自然エネルギーの地産地消プロジェクト	実施段階		主に河川の流量調査を実施
	5	茅野地域協議会 設立年月日 平成23年11月29日 代表者氏名 山本 永 担当者 山本 永	391-0011 茅野市玉川9955-1	連携済			環境省、平成23年度地域主導型再生可能エネルギー事業化検討業務	事業実施段階に移行していく中で『茅野環境未来都市研究会』(平成24年7月24日設立)が設立され、その会の中の太陽光発電分科会において、本事業モデルの実施計画を策定し、事業実施体制を整えることになった。当面は、『茅野地域協議会』を存続させるものの、実質的な活動は研究会へと移行させていく予定。
	6	ゆ〜ぶる木崎湖エコアップ協議会 設立年月日 平成23年12月22日 代表者氏名 遠藤 鷹一 担当者 傘木 宏夫	398-0002 大町市仁科町3302 NPO地域づくり工房気付	連携済	ゆ〜ぶるエコアップ事業	計画段階	無	以下①+②によりA重油使用量を縮減する。 ①地下水貯水槽の断熱対策 ②粗製グリセリン(バイオ軽油副生物)と廃食油を利用したストーブによる①の加温 H24年10月に着工予定
	7	自然エネルギー市民参加モデル研究協議会 設立年月日 平成24年1月11日 代表者氏名 藤川 まゆみ 担当者 合原 亮一	386-0012 上田市中央4-3-10-201	連携済	市民共同設置型自然エネルギー普及モデルの研究事業	実施段階	有 補助金名:信州ネット普及モデル開発地域協議会 交付元機関名:信州ネット	(1)国や県の施策に添い、現時点で小規模で着手可能な太陽光発電の共同設置普及と事業モデルの確立を目指す。法務面、税務面、事業面のリスクを調査し、結果を協議会員で共有し、共同設置事業を展開するための課題の整理を行う。 (2)太陽光に限らず自然エネルギー市民事業化の参考事例の調査を行い、想定される課題の整理と提言を作成する。
				全量買取制に則った市民共同設置型自然エネルギー普及モデルの研究事業	計画段階		今年7月から施行された全量買取法に則った市民共同設置型の自然エネルギーの制度の設計の可能性を研究する。	
8	南信州自然エネルギー0円システム研究会 設立年月日 平成24年1月20日 代表者氏名 原 亮弘 担当者 蓬田 裕一	395-0044 飯田市本町2-15	連携済	講演会<相乗りくん>	実施段階	有 補助金名:元気づくり支援金 交付元機関名:長野県	市民が主導した0円事業の先進事例として、上田市の<相乗りくん>の取り組みを講演いただく。	
				先進地視察学習会	計画段階	有 補助金名:元気づくり支援金 交付元機関名:長野県)	1月ごろに、茅野市のプロジェクト・ファイナンスによるメガソーラー設置を視察する	
9	富士見自然エネルギー推進協議会 設立年月日 平成23年1月24日 代表者氏名 高橋 慶 担当者 佐久 祐司	399-0213 諏訪郡富士見町乙事3664-1 夕日山山荘からまつ	連携済	新エネ×ソーシャルハケ岳	計画段階	有 補助金名:元気づくり支援金 交付元機関名:長野県	ハケ岳周辺における自然エネルギーに関する情報および活動を集約する情報プラットフォームを作成する。ハケ岳周辺で太陽光パネルを設置した住宅の向き場所などの違いによる、発電量の違いなどを調査しホームページで公表する	
				ハケ岳エコファームプロジェクト	計画段階	有 補助金名:元気づくり支援金 交付元機関名:長野県	特定の土地における木質バイオマス、小水力、太陽光発電を設置した自然エネルギー学習型施設「ハケ岳エコファーム」の事業化検討のための講演会およびワークショップの実施。	

普及モデル開発地域協議会および 新規立上げ協議会の活動支援応募状況と二次募集のご案内

■募集内容（申し込み開始日：平成24年6月7日、当初締切日8月31日）

- (1) 自然エネルギー信州ネットと連携する地域協議会で、自然エネルギーの地域イノベーション事業に取り組むことを目的とした地域協議会を対象に地域協議会の運営を支援する。
◎事業認定を受けた1地域協議会あたり 上限30万円を目安として、4団体程度に配分
- (2) 自然エネルギー信州ネットとの連携を前提として、新規に地域協議会を立ち上げるための必要経費を支援する。
◎上限20万円を目安として、5団体程度に配分

■応募状況(平成24年8月末現在)

- (1) 自然エネルギーの地域イノベーション事業に取り組むことを目的とした地域協議会
 - ・自然エネルギー東御地域協議会【申請額300,000円】
 - ・自然エネルギー市民参加モデル研究協議会【申請額262,156円】**以上、2団体**
- (2) 新規に立ち上げる地域協議会
 - ・自然エネルギー木曾地域協議会(仮称)【申請額200,000円】
 - ・木祖村自然エネルギー推進協議会(仮称)【申請額200,000円】**以上、2団体**

■二次募集について

8月31日までに応募があった地域協議会は上記の通りで、定数に満たっていないため追加募集を行います。

- (1) 自然エネルギーの地域イノベーション事業に取り組むことを目的とした地域協議会
追加募集枠： 2団体程度
- (2) 新規に立ち上げる地域協議会
追加募集枠： 3団体程度

【対象となる経費】

諸謝金、消耗品費、印刷製本費、リース料、旅費、通信運搬費、使用料および会場使用料、その他 県が必要と認めたその他の経費

【応募方法】

既定の申請フォーマット(地域協議会に関する状況調査シート)に必要な事項を記載の上別途予算書を添付の上、自然エネルギー信州ネット事務局まで提出
※募集要項ならびに申請フォーマットは、事務局までお問い合わせください。

TEL:026-217-6450 メール;staff@shin-ene.net

【追加募集締め切り】

平成24年 10月31日(水) 但し、定数となった時点で募集は打ち切りとなります。

自然エネルギー信州ネット 地域協議会に関する状況調査シート (1 / 2)

氏 名	事務局長 吉田周平
所 属	自然エネルギー東御地域協議会
提出日	平成 24 年 8 月 22 日
■地域協議会のタイプはどれですか? ※1, 2いずれかに○ (該当しない場合は3に記入)	
<input checked="" type="radio"/> 1. ネットワーク型 2. 特定事業型 <input type="radio"/> 3. その他 (具体的に)	
■地域協議会の名称を記入ください。 設立前は (案) でも可	
名称: 自然エネルギー東御地域協議会	
■この地域協議会はこれから設立するものですか?	
1. すでに設立し、活動している団体 → 平成 24 年 6 月設立	
2. これから新たに設立する団体 ↓次の項目を記入ください。	
■現在の活動状況または設立のスケジュールを記入ください。	
設立総会后、「ソーラー」と「バイオマス・小水力」の2つの部会を設けて活動計画を策定。	
■地域協議会の役員および会員の状況または募集範囲を記入ください	
<input type="radio"/> 役 員: 15 名 役員名簿 (別紙) のとおり <input type="radio"/> 会 員: 32 名 (平成 24 年 7 月 31 日現在) <input type="radio"/> 募集範囲: 市民・団体・企業・行政機関等を代表する者、および専門分野の研究者。 本会の目的に賛同する者・団体等であれば、市内外は問わず。	
■設立・運営にあたっての懸案事項、相談したいことがありましたら自由に記入ください。	
活動資金の調達と賛同者の拡大	

自然エネルギー信州ネット 地域協議会に関する状況調査シート（2 / 2）

<p>■地域協議会で予定、または想定している事業概要を記入ください。</p> <p>出前講座方式で学習会や展示会を開催し、「エネルギーの地産地消」の重要性を呼びかけていく。 「発電コンテスト」や「薪ステーションでの体験」など市民参加型の活動や「地域グリーン電力証書」活動といった事業所との連携により、賛同者や地域リーダー発掘を目指す。 こうした活動を通じ、地域の同意を求め、市の特色ある特定事業への発展のための調査・研究を行っていく。</p> <p>※事業計画書添付</p>	
<p>■地域協議会で予定、または想定している予算概要を記入ください。</p> <p>※予算書添付</p>	
<p>■自然エネルギー信州ネットからは平成24年度の普及モデルの開発に係る活動に対し上限約30万円程度の支援を想定していますが、これを活用して運営する希望がありますか？</p>	
<p>1. ある 2. ない</p>	<p>※4団体程度を想定</p>
<p>■自然エネルギー信州ネットとの連携を前提として、平成24年度内に新規に立ち上げる地域協議会に上限約20万円程度の支援を想定していますが、これを活用する希望がありますか？</p>	
<p>1. ある 2. ない</p>	<p>※5団体程度を想定</p>
<p>■普及モデル開発支援、新規立ち上げ支援を希望する団体は、補助金の活用用途を記入ください。</p> <p>【自然エネルギー学習会・講演会】 【小水力発電啓発講演会】 【自然エネルギー視察研修】</p>	
<p>■その他連絡事項などがありましたら、記入してください。</p>	

ご協力ありがとうございました。

提出先 **自然エネルギー信州ネット事務局**

FAX 026-217-6450 メール : staff@shin-ene.net

平成24年度

自然エネルギー東御地域協議会

- 予算書 (信州ネット用) -

資料2-1

予算額 300,000 円
予算額 300,000 円
差引 0 円

【収入の部】

項目	予算額	説明
補助金	300,000	自然エネルギー信州ネット
雑収入	0	
合計	300,000	

【歳出の部】

項目	予算額	説明
消耗品費	30,000	宣伝用品 (看板・のぼり旗)
備品購入費	140,000	デモ用太陽光発電セット
旅費	90,000	30,000×3人 (北海道芦別市、美幌町など)
報償費	40,000	学習会講師謝礼 (20,000×2回)
合計	300,000	

自然エネルギー信州ネット 地域協議会に関する状況調査シート (1 / 2)

氏 名	藤川まゆみ
所 属	NPO法人上田市民エネルギー
提出日	2012/08/30
■地域協議会のタイプはどれですか？ ※1, 2いずれかに○ (該当しない場合は3に記入) 1. ネットワーク型 ○ 2. 特定事業型 3. その他 (具体的に)	
■地域協議会の名称を記入ください。 設立前は (案) でも可 名称：自然エネルギー市民参加モデル研究協議会	
■この地域協議会はこれから設立するものですか？ ○ 1. すでに設立し、活動している団体 → 平成24年1月設立 2. これから新たに設立する団体 ↓次の項目を記入ください。	
■現在の活動状況または設立のスケジュールを記入ください。 自然エネルギー市民参加モデル研究協議会では、昨年から継続して市民共同設置型自然エネルギーの普及モデル事業化を続ける予定である。 昨年は信州ネットからの活動支援を利用して余剰電力買取制に則った市民共同設置型自然エネルギーにおける契約形態や税務面の検討を行い、成果を得て報告書にまとめることができた。 今年度は、7月から始まった全量買取制に則った市民共同設置型自然エネルギー普及モデル事業化に向けて課題解決 (法務面の研究会、先行事例の視察調査、リスク調査など) のために信州ネットからの活動支援を利用したい。 現在、NPO法人上田市民エネルギーの《相乗りくん》事業への問合せの中で工場やアパートの屋根など太陽光パネル10kw以上の設置が可能なケースがかなり増えてきている。 しかしながら、余剰電力買取制の《相乗りくん》の場合は制度が進み全貌が明らかになっている状態からの事業設計であったのに比べ、全量買取制はまだ始まったばかりで実施例が少なく時間をかけた調査検討が必要である。 発電の全量を20年間売電するという制度の中での余剰電力買取制とは違った法務面やリスク面での検討・調査を進め、事業化につなげたい。	
■地域協議会の役員および会員の状況または募集範囲を記入ください 役員については昨年同様である。会員を含めて9団体 (個人を含む)。 会員は今年度に入ってから1名の申込みあり受理。 上小地域を中心にどこからでも参加が可能としているが、東京からの申込みは保留。	
■設立・運営にあたっての懸案事項、相談したいことがありましたら自由に記入ください。 東京の会社法人代表の方からの参加申込みがあり、検討中のみ保留になっている。 遠方のため、また地域協議会という性質のため、どう対応してよいか判断に迷っている。	

自然エネルギー信州ネット 地域協議会に関する状況調査シート (2 / 2)

<p>■地域協議会で予定、または想定している事業概要を記入ください。</p>
<p>全量買取制に則った市民共同設置型自然エネルギー普及モデルの法的また会計の整備研究を予定。</p>
<p>■地域協議会で予定、または想定している予算概要を記入ください。</p>
<p>信州ネットの普及モデル補助金申請予定。 他、会員の年会費：22000 円</p>
<p>■自然エネルギー信州ネットからは平成24年度の普及モデルの開発に係る活動に対し上限約30万円程度の支援を想定していますが、これを活用して運営する希望がありますか？</p>
<p>○1. ある 2. ない ※4 団体程度を想定</p>
<p>■自然エネルギー信州ネットとの連携を前提として、平成24年度内に新規に立ち上げる地域協議会に上限約20万円程度の支援を想定していますが、これを活用する希望がありますか？</p>
<p>1. ある ○2. ない ※5 団体程度を想定</p>
<p>■普及モデル開発支援、新規立ち上げ支援を希望する団体は、補助金の活用用途を記入ください。</p>
<p>全量買取制に則った市民共同設置型自然エネルギー普及モデルの事業研究 研究費用、事務経費、報告書作成費、市民普及印刷物等 (詳細な予算書は別紙)</p>
<p>■その他連絡事項などがありましたら、記入してください。</p>

ご協力ありがとうございました。

提出先 **自然エネルギー信州ネット事務局**

FAX 026-217-6450

メール : staff@shin-ene.net

自然エネルギー市民参加モデル研究協議会

全量買取制に則った市民共同設置型自然エネルギー普及モデル事業化のための課題解決
 予算計画書

資料2-2

諸謝金	
全量買取制法務検討会講師:20000円×3名	60000
旅費	
おひさま進歩視察費用(上田—飯田高速代2050円×往復×2台、ガソリン代22円×132km×往復×2台)	19816
事業者訪問調査2名2社(上田—東京、新幹線往復、2回)	47,840
その他旅費(上田—長野往復3回)	4,500
小計	72,156
使用料および会場使用料	
会場費5,000×4回	20000
資料費500×4回×15人	30000
小計	50000
消耗品費	10000
通信運搬費	10000
印刷製本費	
報告書印刷製本費(A4版 80頁、50部)	60000
総予算	262156

自然エネルギー信州ネット 地域協議会に関する状況調査シート (1 / 2)

氏名	秋元 亨太
所属	木曾地方事務所 環境課
提出日	平成 24 年 8 月 日
■地域協議会のタイプはどれですか？ ※1, 2いずれかに○ (該当しない場合は3に記入)	
<input checked="" type="radio"/> 1. ネットワーク型 2. 特定事業型 <input type="radio"/> 3. その他 (具体的に)	
■地域協議会の名称を記入ください。 設立前は(案)でも可	
名称：自然エネルギー木曾地域協議会	
■この地域協議会はこれから設立するものですか？	
<input checked="" type="radio"/> 1. すでに設立し、活動している団体 → 平成24年9月設立 <input type="radio"/> 2. これから新たに設立する団体 ↓次の項目を記入ください。	
■現在の活動状況または設立のスケジュールを記入ください。	
<input type="radio"/> 平成 23 年 10 月 12 日 第 1 回学習会開催 <input type="radio"/> 平成 24 年 1 月 28 日 第 2 回学習会開催 <input type="radio"/> 平成 24 年 6 月 20 日 準備会開催 <input type="radio"/> 平成 24 年 9 月 4 日 設立総会開催	
■地域協議会の役員および会員の状況または募集範囲を記入ください	
<input type="radio"/> 会長 松井淳一 (有限会社 エイチ・アイ・エフ) <input type="radio"/> 事務局長 西谷正 (有限会社アース・テック) <input type="radio"/> その他 副会長 7 名、監事 2 名、運営委員 20 名 <input type="radio"/> 顧問 村上 淳 (長野県議会議員) <input type="radio"/> 行政会員 木曾管内 6 町村 (自然エネルギー担当部署 1 名ずつ) <input type="radio"/> 一般会員を募集予定	
■設立・運営にあたっての懸案事項、相談したいことがありましたら自由に記入ください。	

自然エネルギー信州ネット 地域協議会に関する状況調査シート (2 / 2)

<p>■地域協議会で予定、または想定している事業概要を記入ください。</p> <p>[木曾地域小水力発電推進シンポジウム]</p> <p>実施主体：自然エネルギー木曾地域協議会及び長野県木曾地方事務所共催</p> <p>実施時期：平成24年10月26日から27日</p> <p>内 容：①講演会及びパネルディスカッション 平成24年10月26日（金）13時から15時 勤労者福祉センター（上松町）</p> <p> ②デモンストレーション 平成24年10月26日（金）15時から17時 平成24年10月27日（土）9時から12時 上松町 吉野地域 農業用水路</p> <p>参加者：約50名</p>
<p>■地域協議会で予定、または想定している予算概要を記入ください。</p> <p>○平成24年度は会費の徴収はしない。</p> <p>○諸謝金 15,000円 ○消耗品費 25,000円 ○印刷製本費 25,000円 ○リース料 0円</p> <p>○旅費 15,000円 ○通信運搬費 110,000円 ○使用料及び会場使用料 10,000円</p> <p style="text-align: right;">合計 200,000円</p>
<p>■自然エネルギー信州ネットからは平成24年度の普及モデルの開発に係る活動に対し上限約30万円程度の支援を想定していますが、これを活用して運営する希望がありますか？</p> <p>1. ある <input checked="" type="radio"/> 2. ない ※4団体程度を想定</p>
<p>■自然エネルギー信州ネットとの連携を前提として、平成24年度内に新規に立ち上げる地域協議会に上限約20万円程度の支援を想定していますが、これを活用する希望がありますか？</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1. ある 2. ない ※5団体程度を想定</p>
<p>■普及モデル開発支援、新規立ち上げ支援を希望する団体は、補助金の活用用途を記入ください。</p> <p>○上記、予算概要と同様</p> <p>※別添予算書参照</p>
<p>■その他連絡事項などがありましたら、記入してください。</p>

ご協力ありがとうございました。

提出先 自然エネルギー信州ネット事務局

FAX 026-217-6450 メール：staff@shin-ene.net

平成 24 年度 自然エネルギー木曽地域協議会
 予算計画

(平成 24 年 9 月 4 日～平成 25 年 3 月 31 日)

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
会 費	0			
補 助 金	200,000			自然エネルギー信州ネットより補助
寄 付 金	0			
雑 収 入	0			
合 計	200,000			

支出の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
諸 謝 金	15,000			講演会（未定）講師謝金
消耗品費	25,000			小水力シンポジウム等
印刷製本費	25,000			同上
リース料	0			
旅 費	15,000			講演会（未定）講師旅費
通信運搬費	110,000			小水力シンポジウム 発電機輸送費
使用料及び 会場使用料	10,000			講演会、視察等（未定）
合 計	200,000			

自然エネルギー信州ネット 地域協議会に関する状況調査シート (1 / 2)

氏 名	木祖村長 栗屋 徳也
所 属	木祖村
提出日	平成 24 年 8 月 9 日
■地域協議会のタイプはどれですか？ ※1, 2いずれかに○ (該当しない場合は3に記入)	
<input checked="" type="radio"/> 1 ネットワーク型 2. 特定事業型 3. その他 (具体的に)	
■地域協議会の名称を記入ください。 設立前は (案) でも可	
名称：木祖村自然エネルギー協議会 (仮称)	
■この地域協議会はこれから設立するものですか？	
1. すでに設立し、活動している団体 → 平成 年 月設立 <input checked="" type="radio"/> 2. これから新たに設立する団体 ↓次の項目を記入ください。	
■現在の活動状況または設立のスケジュールを記入ください。	
近く協議会発足のための準備会を発足し、公募の方法や会則等の内容を検討して協議会を発足させる。 《スケジュール》 ◇第1回協議会発足準備会・・・8月22日(水)午後1時30分から開催予定 ◇協議会メンバーを公募・・・9月10日～9月25日 ◇第1回協議会発足総会開催・・・10月17日予定	
■地域協議会の役員および会員の状況または募集範囲を記入ください	
1. 協議会の役員 (準備会)・・・木祖村副村長、木曾地方事務所環境課長、木曾森林組合長、有識者、地元NPO法人理事長、独立行政法人水資源機構味噌川ダム管理所長、地元商工会長、JA木曾木祖支所長 計8名 2. 募集範囲・・・地元企業、地元事業所、地元村民 (総勢20名程度)	
■設立・運営にあたっての懸案事項、相談したいことがありましたら自由に記入ください。	
この協議会 (仮称) の最終的な目標は、具体的な実施計画書を作成することに重点をおいています。そのためには、学習会の開催、先進地視察などを繰り返し、官民連携のもと計画書を作成したいと考えておりますが、このような方針についてアドバイスをお願いしたい。	

自然エネルギー信州ネット 地域協議会に関する状況調査シート (2/2)

■地域協議会で予定、または想定している事業概要を記入ください。

- 1 地元実現可能なエネルギーの調査研究に関すること。
 - ・有識者による学習会、先進地視察等
- 2 環境関連産業の振興に関すること。
 - ・地元企業が環境関連の産業を起業することの検討
 - ・環境関連産業の地域参入の検討
- 3 地元自然エネルギーの普及に向けた具体的な取り組みに関すること。
 - ・普及啓発に関する展示会（イベント）の開催
 - ・普及啓発に向けたチラシの作成と配布
- 4 自然エネルギー木曾地域協議会との連携に関すること。
 - ・木曾地域協議会の情報収集、情報発信、情報交換
- 5 その他、目的を達成するために必要な事項。

■地域協議会で予定、または想定している予算概要を記入ください。

平成24年度予算概要

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
会 費	0	
補 助 金	200,000	自然エネルギー信州ネット補助金
寄 付 金	0	
雑 収 入	0	
合 計	200,000	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
講 師 謝 金	50,000	学習会等講師謝金
使 用 料	58,000	研究視察等貸切バス使用料
旅 費	5,000	講師等旅費
消 耗 品 費	20,000	事務用品、啓発用消耗品
通 信 費	17,000	協議会会員通知、会議資料等送付代
印 刷 費	50,000	協議会資料、啓発チラシ等印刷代
合 計	200,000	

※平成24年度においては、主に学習会を兼ねた協議会を重ねていき、住民等への啓発活動を行うための予算概要とする。

■自然エネルギー信州ネットからは平成24年度の普及モデルの開発に係る活動に対し上限約30万円程度の支援を想定していますが、これを活用して運営する希望がありますか？

1. ある 2. ない ※4団体程度を想定

■自然エネルギー信州ネットとの連携を前提として、平成24年度内に新規に立ち上げる地域協議会に上限約20万円程度の支援を想定していますが、これを活用する希望がありますか？

1. ある 2. ない ※5団体程度を想定

■普及モデル開発支援、新規立ち上げ支援を希望する団体は、補助金の活用用途を記入ください。啓発運動に関わるチラシの作成や講演会等を行う講師謝礼に充当したい。

■その他連絡事項などがありましたら、記入してください。

資料 3

平成 24 年 9 月 21 日

新たな会員制度への移行状況ならびに会員数の報告

9 月 20 日までの会員数は、以下の通りです。

自然エネルギー信州ネット 会員数集計表

平成24年9月20日

	移行手続き完了会員数			改定前 会員数	未手続き会員数 (改定前 - 継続)
	継続	新規	合計		
正会員(企業・営利団体)	34	9	43	139	55
正会員(NPO・市民団体)	15	4	19		
正会員(個人)	35	4	39		
準会員	23	4	27	126	103
情報会員	15	4	19	0	-15
賛助会員	0	0	0	14	14
合 計	122	25	147 ①	279	157 ②

→ 情報会員
に移行

全会員数 ① + ② = 304

会員移行に伴い入会申込書を新たに提出いただいた方は、継続手続きをいたします。
まだ、提出いただけていない方は、9月末を持って、一旦情報会員といたします。

メールでの情報発信に関しては、これまで全会員に情報を発信しておりましたが、9月末をもって、総会で決定した下記表の通り、区分ごとの会員サービスを開始いたします。

◆会員区分と特典

	正会員	準会員	賛助会員	行政会員	情報会員
議決権がある	○	×	×	×	×
部会に参加できる	○	○	○	○	×
専門部会の役員になれる	○	×	×	×	×
理事になれる	○	×	×	×	×
講習会等の参加費割引	○	○	○	○	×
ML での各種ご案内	○	○	○	○	×
月刊メールニュース配信	○	○	○	○	○

資料4

会員名簿の「自然エネルギー信州ネット」ホームページ公開について

当会員から「ホームページ上への公開は慎重に取り扱うべき」という意見もあり、以下のような取扱いとしたい。

1. 企業、営利団体、NPO、市民団体会員について

正会員、準会員、情報会員いずれも、公開について非公開の項目を除き公開とする。

2. 個人会員について

正会員、準会員、情報会員いずれも、公開について、氏名及び所在市町村のみとする。ただし、「自然エネルギーに関する取組み得意分野」については、記載していただいた会員については公開とする。

ただし、会員から照会があった場合は、非公開の項目を除き回答する。

3. その他

今後必要に応じて、公開の範囲を広げるか否かを検討していく。

資料5

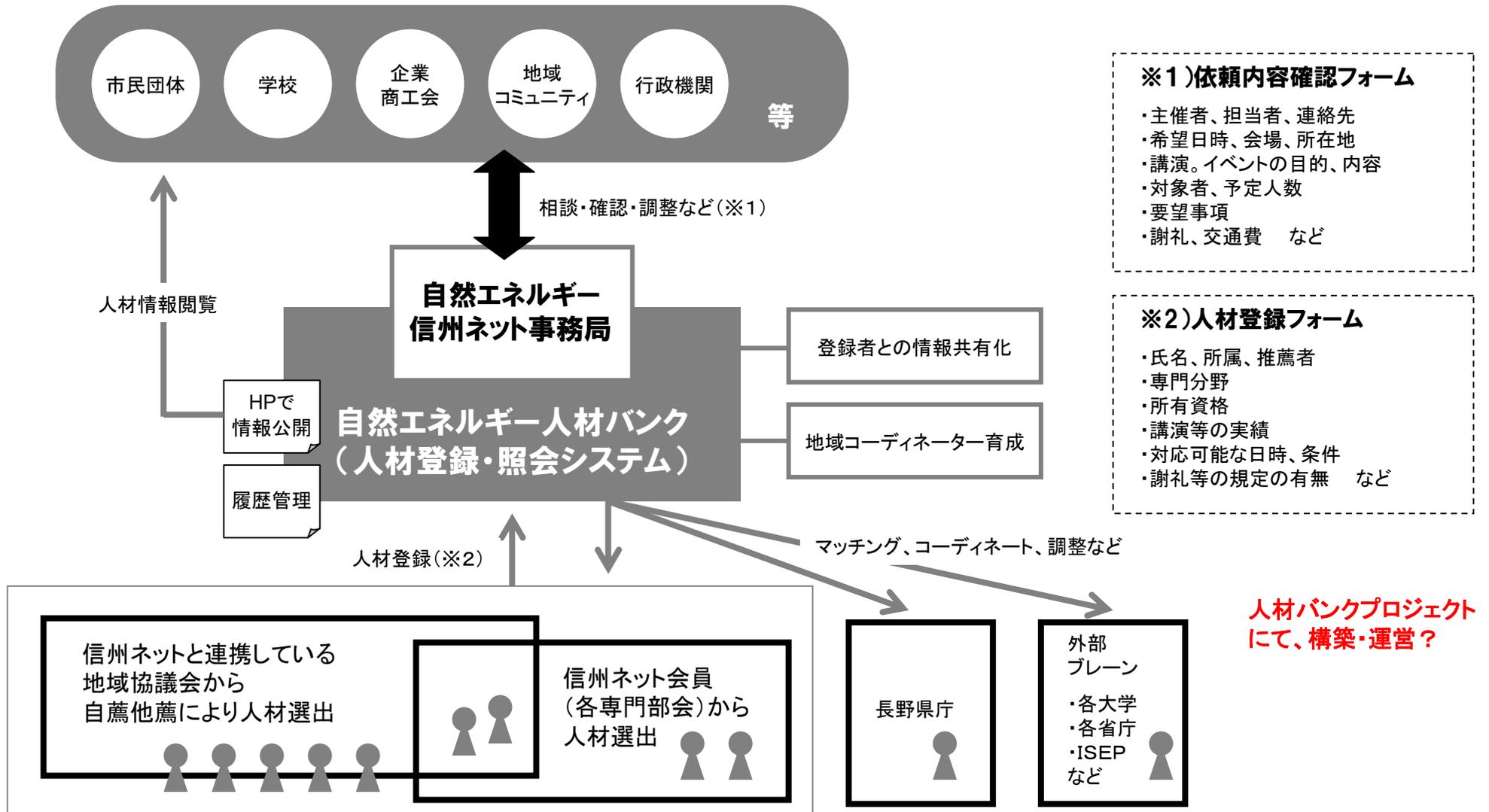
自然エネルギー信州ネット「連絡会」の開催について

1. 日 時 平成24年10月30日（火）10時～12時
2. 場 所 新興マタイ 会議室（佐久市中込1-10-1:電話0267-63-0001）
3. 議 事 自然エネルギー信州ネット及び自然エネルギー佐久地域協議会報告等
4. その他 太陽光発電施設見学

自然エネルギー信州ネット 人材バンク構想(たたき台)

- 研修会・勉強会の講師依頼
- イベント、シンポジウム等での講演依頼
- 自然エネルギー事業化にあたっての相談・支援依頼

県内・県外の様々な団体からの要請や問合せが増えている
 要請内容は、漠然としたものから専門性の高いものまでさまざま
 現在は、事務局と県温対課により個別対応



※1)依頼内容確認フォーム

- ・主催者、担当者、連絡先
- ・希望日時、会場、所在地
- ・講演。イベントの目的、内容
- ・対象者、予定人数
- ・要望事項
- ・謝礼、交通費 など

※2)人材登録フォーム

- ・氏名、所属、推薦者
- ・専門分野
- ・所有資格
- ・講演等の実績
- ・対応可能な日時、条件
- ・謝礼等の規定の有無 など

人材バンクプロジェクトにて、構築・運営?

■ワーキンググループ立ち上げの経緯

23年度からの環境省受託事業である「初期投資ゼロによる自然エネルギー普及事業」及び「ソーラー年金(市民出資型)ビジネス」の事業モデル化の精度向上と他地域での汎用性を高めるため、24年度は新たなコーディネーター候補との募集を5月に実施。「初期投資ゼロ部会」「ソーラー年金部会」の2部会合同ワーキンググループとして、実践的に地域の課題を検討する場とする。

■ワーキンググループの目的

地域への貢献が期待できる「地域主導型自然エネルギー事業者」創出支援のための、あらゆるノウハウ・スキルを、地域事業化の実践を通じて構築するとともに、現場に精通した地域コーディネーターを育成する。

■本年度の目標(平成24年度環境省受託事業概要)

項目		本年度の目標
(1) 初期投資ゼロ事業、ソーラー年金事業のモデル地域での事業化の推進	2部会合同 ワーキンググループ	<初期投資ゼロ事業部会> ○「太陽エネルギー推進協議会」での事業モデルの事業化 経過確認 ○新たな協議会の関与によるバリエーション検討・・・「自然エネルギー信州ネットSUWA」 ○自然エネルギー見える化のデータ収集、情報発信のしくみづくり ○他地域への同事業モデルの普及
		<ソーラー年金部会> ○自然エネルギー茅野協議会での事業モデルの事業化 経過確認。 ○新たな協議会の関与によるバリエーション検討・・・「長野北信地域協議会」 ○バイオマス事業(熱利用)での資金調達のしくみ検討 ○他地域への同事業モデルの普及
(2) 多様な資金調達手法の検討、実証	2部会合同 ワーキンググループ 分科会	○市民出資、寄付、融資など多様な資金調達手法をより詳細に検討。 ○地域協議会における事業化にあたっての市民出資の手法としての活用に関する調査の実施。 ○事業モデルへの組み込み。
(3) 地域コーディネーターの育成	2部会合同 ワーキンググループ	○実践活動を通じた地域コーディネーターとしての人材育成 ○事業モデルの課題解決につながる勉強会、視察等の実施 ○地域主導型再生可能エネルギー事業化を支援する人的スキル・ノウハウの構築

自然エネルギー信州ネット 平成24年度
初期投資ゼロ事業部会・ソーラー年金部会(合同部会=ワーキンググループ)

資料7-2

■ 世話人

原 亮弘	飯田市	おひさま進歩エネルギー
井出 進	佐久市	LLP佐久咲くひまわり
西原 秀次	須坂市	株式会社サンジュニア

■ 初期投資ゼロ事業部会 ◎:部会長 ○:副部会長

研修会

	中村 嘉寿良	須坂市	(株)ソーラージャパン	昨年度部会長		資金調達分科会(仮称)
	葦木 美咲	茅野市	MEGAMI MUSIC	昨年度副部会長		
◎	山本 逸人	松本市		コーディネーター候補	★	見える化
○	栗田 力	上田市	太陽力株式会社	コーディネーター候補	★	見える化
	上原 幸人	諏訪市	北武居田太陽光発電研究会	コーディネーター候補		
	中野 昭彦	茅野市	NPO法人 ハヶ岳森林文化の会	コーディネーター候補		
	松岡 実	山形村	NPO法人 信州松本アルプスの風	育成支援		
	藤川 まゆみ	上田市	NPO法人 上田市民エネルギー	育成支援		
	青木 和壽	塩尻市	有限会社 和建築設計事務所	育成支援		

■ ソーラー年金部会 ◎:部会長 ○:副部会長

研修会

	山本 永	茅野市	茅野まちづくり研究所有限責任事業組合	昨年度部会長		資金調達分科会(仮称)
	鈴木 純一	茅野市	グリーンハット	昨年度副部会長		資金調達分科会(仮称)
	天野 輝芳					
	池谷 勝典	佐久市	新興マタイ株式会社			
	大日方 聰夫	鬼無里	農業・NPO法人 まめってえ鬼無里			
◎	鈴木 寛	長野市	ベッカライ麦星	コーディネーター候補	★	
○	中島 崇伸	松本市	株式会社 住まい工房	コーディネーター候補	★	
	川田 富夫	上田市	エコ屋・ごしょうらく(自営)	コーディネーター候補		
	寿永 岳史	麻績村	聖高原開発公社	コーディネーター候補		
	小田切奈々子		自然エネルギー信州ネット事務局スタッフ	事務局	★	基金事業兼務
	末広 繁和	上田市	ブレイクスルー研究会	育成支援		
	永井 富夫	長野市		育成支援		

■ 自然エネルギー信州ネット関係者

長野県環境部温暖化対策課 中島 恵理、室賀 荘一郎、大林 輝主
自然エネルギー信州ネット事務局 宮入 賢一郎、宮下 喬一、小田切 奈々子、丸山 恵美

■ 外部アドバイザー

環境エネルギー政策研究所 松原 弘直、黒崎 晋司、吉岡 剛

「自然エネルギーふれあいDAY IN 信州」等事業報告について

1. 自然エネルギーふれあいDAY IN 信州について

(1)経過

昨年度、長野県は、震災による電気需要逼迫や環境を配慮して、5%削減の節電を呼び掛けた。特に、夏至の日など三日間を選んで、ピークカットチャレンジ事業を実施した。そのピークカットチャレンジ事業の一環として、長野県ガス協会主催、長野県協力、長野県教育委員会、長野市、長野市教育委員会、市民団体及びマスコミ協賛で、講演、パネルディスカッションのイベントを実施した。

本年度も同様な節電が求められる中で、長野県ガス協会からイベントへの協力の提案があった。

そこで、長野県と協議しながら、自然エネルギー信州ネット会員企業にも協賛をお願いし、自然エネルギー信州ネットも一年を向かえること長野県は節電・省エネキャンペーンの「さわやか信州大作戦」を総ぐるみで展開していることもあわせてイベントを計画した。枝廣淳子氏の講演、自然エネルギーに挑戦する女性のパネルディスカッション、並びに美咲さんのライブ、高校生のパフォーマンスと「学ぶ」「考える」「遊ぶ」をコンセプトに開催した。合わせて、協賛事業者の出展、自然食品などのブースを設置した。

(2)事業報告

・参加者は、関係者も含め300人程度であり、一定の成果をあげた。

・事業費は、200万円弱であり、自然エネルギー信州ネットの会員の協賛金により、実施できた。現在、イベントについての意見を聞いている。

・事業の収支については、収入として、自然エネルギー信州ネットの会員、団体(11社)から1,635千円の協賛金をいただいた。

・支出については、講師謝礼(枝廣淳子氏ほか3名)415,820円、美咲さん、高校生パフォーマンス158,800円、会場設営、広告宣伝等1,300,000円、託児、昼食、交通費等経費60,380円計1,935,000円。ただし、広告宣伝の一部を県が協力してくれた。

2. 2012信州環境フェアについて

(1)経過

8月25日(土)26日(日)二日間開催された2012信州環境フェアに自然エネルギー信州ネットとして、初めて出展した。

(2)事業報告

来場者は全体として2日間9926人、当ブースでの情報提供は200人弱であった。